

各 位

株草津温泉フットボールクラブ

株主総会・取締役会開催のご報告

当社の第11期定時株主総会および取締役会が本日4月24日、前橋市の前橋商工会議所で開かれました。株主総会では第11期決算、任期満了等に伴う取締役11名（再任10名、新任1名）の選任、監査役1名（新任）の選任、クラブライセンス対策（資金調達計画）等が原案どおり承認され、その後の取締役会で代表取締役社長に都丸晃、取締役クラブライセンス対策本部長に菅原宏がそれぞれ再任されました。

皆さまには当社の現状をご理解のうえ、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(1) 直前2事業年度と第11期（平成25年2月1日から平成26年1月31日まで）決算

単位：千円 ▲：マイナス

| 区 分 | 第9期決算 H24年1月期 | 第10期決算 H25年1月期 | 第11期決算 H26年1月期 |
|------------|------------------|-------------------|-------------------|
| 売上高 | 562,419 | 496,350 | 468,550 |
| 売上原価 | 21,547 | 19,509 | 18,002 |
| 売上総利益 | 540,872 | 476,841 | 450,548 |
| 販売管理費 | 577,593 | 515,974 | 474,902 |
| 営業損益 | ▲36,720 | ▲39,133 | ▲24,354 |
| 経常損益 | ▲22,377 | ▲29,890 | ▲15,763 |
| 当期純損益(税引後) | ▲24,330 | ▲32,997 | ▲17,700 |
| 総資産 | 79,437 | 110,380 | 118,760 |
| 純資産 | ▲101,126 | ▲87,123 | ▲55,823 |

(2) 当社の新役員

| 地 位 | 氏 名 | 担当および[重要な兼職の状況] |
|-----------------|-------|---------------------------|
| 代表取締役 社長（再任） | 都丸 晃 | 常勤 |
| 取締役（再任） | 菅原 宏 | 常勤、クラブライセンス対策本部長 |
| 取締役（再任） | 赤地 勝美 | [グローバルピッグファーム株式会社代表取締役会長] |
| 取締役（再任） | 遠藤 祐司 | [株式会社サンワ代表取締役会長] |
| 取締役（再任） | 鳥谷部 史 | [株式会社野村総合研究所主席コンサルタント] |
| 取締役（再任） | 板垣 忍 | [株式会社板垣労務管理事務所代表取締役] |

| | | |
|---------|-------|-----------------------|
| 取締役（再任） | 黒岩 信忠 | [草津町長] |
| 取締役（再任） | 山田 寅幸 | [一般社団法人草津温泉観光協会会長] |
| 取締役（再任） | 星野 哲也 | [群馬ヤクルト販売株式会社代表取締役社長] |
| 取締役（再任） | 斎藤 郁雄 | [富士スバル株式会社代表取締役副社長] |
| 取締役（新任） | 真下 敦紀 | [有限会社カーリーグ代表取締役] |
| 監査役（新任） | 小磯 正康 | [弁護士、小磯正康法律事務所長] |

(注)本日開催の株主総会終結をもって、監査役の河村憲治氏が辞任いたしました。

(3) クラブライセンス（財務基準）対策

- ・ 主な経過と今後の日程

| 月 日 | 会 議 等 | 内 容 (予 定) |
|-------|----------------|---------------------------------------|
| 2月24日 | 臨時株主総会および取締役会 | 新体制が発足、クラブライセンス対策本部スタート |
| 3月9日 | ホーム初戦 | ザスパクサツ群馬支援募金を開始 |
| 3月11日 | Jリーグ FIB ヒアリング | FIBが資金調達計画の策定と、8月31日までの入金ベースでの計画実行を通達 |
| 3月31日 | | ザスパ（Jクラブ）存続会議が正式発足 |
| 4月1日 | | 募金・寄付金が10,000千円を突破 |
| 4月3日 | 決算取締役会 | |
| 4月17日 | 取締役会 | |
| 4月23日 | | 募金・寄付金が20,000千円を突破 |
| 4月24日 | 第11期定時株主総会 | 第12期予算計画および資金調達計画概要案を決議 |
| 同 | 取締役会 | |
| 同 | 記者会見 | 第12期予算計画および資金調達計画概要案等を発表、クラブ公式サイトで公表 |
| 5月下旬 | 取締役会 | |
| 6月下旬 | 取締役会 | |
| 6月30日 | | 資金調達計画などクラブライセンス申請書類をJリーグへ提出（期限） |
| 7月下旬 | 取締役会 | |
| 8月下旬 | 取締役会 | |
| 8月31日 | | 資金調達計画の完了（入金実行）、Jリーグへ実行完了の関係書類提出（期限） |
| 9月 | FIBライセンス決定会議 | |
| 同 | FIB審問 | 該当クラブのみ |
| 同 | FIBライセンス決定 | |

・資金調達計画の概要

| 名 目 | 金額(円) | 備 考 |
|-------------|------------|--------------------------|
| スポンサー協賛 | 30,000,000 | 企業・団体 20 前後 |
| アシストパートナー協賛 | 20,000,000 | 1 口 20,000 円以上×800 団体・個人 |
| チケット購入 | 2,500,000 | |
| グッズ購入 | 1,500,000 | |
| 企業団体募金・寄付金 | 20,000,000 | 8 月 31 日までの入金ベース |
| 一般募金・寄付金 | 10,000,000 | 8 月 31 日までの入金ベース |
| その他（出資等） | 1,000,000 | |
| 合 計 | 85,000,000 | |

(注)上記の今後の日程は変更する場合があります。

また、資金調達計画の概要は資料を作成した 4 月上旬ベースでの交渉中の案件を含む数字です。今後の営業活動や募金・寄付金の動向などによって変動する可能性がありますし、J リーグの審査なども考慮に入れながら、上方修正を目指します。最終的には 6 月末までに J リーグに提出した資金調達計画をもとに順次実行してまいりますので、引き続き皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

(4) 第 11 期の主な事業

① トップチームの戦績および観客動員

J2 参入 9 年目の当期 2013 シーズンはチーム名を改称し、新進の秋葉忠宏監督を迎え、選手も 15 人を入れ替え「新鮮力」をスローガンにスタート。不本意な戦いが続き、最終的に 9 勝 13 分 20 敗（勝ち点 40）の 22 チーム中 20 位で、かろうじて J2 残留を果たしました。

ホーム戦 21 試合の入場者は計 74,990 人。1 試合当たりの平均入場者は 3,571 人（前期 3,341 人）で、J2 の中で 21 位でした。J2 の 1 試合平均入場者は 6,665 人で、北関東の栃木 4,922 人、水戸 4,630 人と比較しても 1,000 人以上下回りました。

② ホームタウン活動

トップチーム選手による活動は地元選手の母校訪問や病院慰問、福島県相馬市など 41 か所で、アカデミーコーチによる体育授業は伊勢崎市の小学校 23 校で行いました。元気な高齢者になるための介護予防事業は 5 市 11 会場で開催し、市町村 PR 事業は前橋、高崎、渋川、伊勢崎、藤岡、みどりの各市を対象に実施しました。

専属コーチによる「スマイルキッズキャラバン」は 170 回（学校訪問 100 校）行い、「J Aバンク・スマイルキッズ食育キャラバン」も子供の「食育と運動」をテーマに 4 回実施しました。これらの活動に参加した児童・生徒は 9,700 人に達しました。

③ ザスパ草津チャレンジャーズ活動

チャレンジャーズは選手 20 人構成。草津町内 18 の旅館・飲食店などで働きながら活動しました。チームの戦績は群馬サッカーリーグ 3 部 B ブロック 10 戦全勝。群馬県サッカー協会会長杯を勝ち上がり、群馬県代表として天皇杯全日本サッカー選手権大会に初出場しました。地域貢献活動は 24 の行事に参加しました。

④ アカデミー活動

当期は、アカデミー事業を設立 2 期目となる特定非営利活動（NPO）法人「ザスパポーツクラブ」に全面移管。U-18 は群馬県 2 部リーグで 1 位となり、2014 シーズンの 1 部昇格が決定。U-15 レディースは群馬県サッカー選手権で優勝しました。また、サッカー以外のスポーツ教室として、レディースフィットネス、健康スポーツ、幼児スポーツの各教室を開催しました。

以上